

竜王町コンパクトシティ化構想の実現へ!

ま^まり^りゅう
輝竜の郷づくり 新時代へのチャレンジ

まずは「交流・文教ゾーン」を整備します

町立図書館の北側から町道東西線の間(綾戸地先)に、これからの竜王町に必要な不可欠な「教育」と「交流」のための施設を移転新築と新設により集め、「交流・文教ゾーン」として一体的に整備します。

新たなまちづくりを町民皆さまとともに進めていくため、これからの取り組みをシリーズでお知らせします。



■ 用地の整備

令和5年度着工

令和5年度から造成工事に着工するため、地元や関係者のご協力により埋蔵文化財の試掘調査に着手しました。あわせて用地を造成するための設計を進めています。

■ 竜王小学校(移転新築)

令和7年度開校

竜王小学校を移転新築。現施設の課題に対応し、時代の変化や教育ニーズの変化に弾力的に対応できる施設を整備します。

■ 竜王こども園(移転新築)

令和10年度開園

令和4年4月に開園する竜王町立竜王こども園を移転新築し、0～5歳児を対象とした幼保連携型認定こども園として整備します。

■ 竜王小学校区学童保育所(移転新築)

令和9年度開所

竜王小学校区の学童保育所として、利用者全員を受け入れられる規模の施設を整備します。

■ 学校給食センター(移転新築)

令和12年度稼働

竜中・竜小・西小・竜王こども園へ安全安心でおいしい給食を提供し、あわせて食物アレルギー対応食を提供できる施設を整備します。

■ コミュニティセンター(新設)

令和9年度開館

地域コミュニティによる活動や自主的なまちづくり活動を支援する施設として新たに整備します。

■ 公園(新設)

令和9年度開園

誰もが自由に利用できる芝生の公園として整備し、遊具のほか、マンホールトイレやかまどベンチなども設置し、災害に備えます。

■ 共用駐車場(新設)

令和7年度利用開始

施設ごとの駐車場は設けず、学校や園の行事開催時にも十分に駐車できる広さの共用駐車場を、ゾーンの北側と南側に整備します。スクールバスの乗降場所も設けます。

※開園・開所等の時期は現時点での予定であり、状況により変更することがあります。

「交流・文教ゾーン」の整備により期待できる効果

1. ゾーンの整備をきっかけに、住宅ゾーンや商業施設ゾーンが整備され、竜王町に中心核エリアが誕生し、将来にわたって**町全体の暮らしやすさが高まります**。
2. 新たに整備するコミュニティセンターや公園に防災機能を持たせることにより、**町全体の防災力が高まります**。
3. ゾーンとして一体整備することにより、駐車場を集約できることから、ゾーン内の車両通行を制限し、**子どもたちや利用者の安全が守れます**。
4. 公民館・図書館・役場等に近い場所にゾーンを整備することから、**施設間の連携が図れ、利用もしやすくなります**。
5. 現竜王小学校・竜王幼稚園の跡地は、住宅地として整備を進めることにより、**若い世代の定住が見込めます**。

竜王小学校の場所を移転する理由 ～小学校教育の視点から～



- **学校施設的环境向上・工事期間中の影響回避**
校舎・グラウンド・体育館・プール等の一体整備により、教育環境が向上するとともに、工事期間中の学校教育への影響が避けられます。
- **通学時の安全確保**
小学校の隣に駐車場を整備でき、スクールバスや送迎車の乗り降りに交通量の多い道路を横断しなくすみます。
- **周辺の教育施設と連携強化**
認定こども園・学童保育所・給食センター・図書館・公民館等が近接することで連携がしやすくなります。
- **駐車場の確保**
学校行事開催時に十分な駐車スペースが確保できます。

整備にかかる費用（現時点での見込み）

将来世代に過度な町の財政負担を残すことのないよう、整備内容は十分に検討・精査するとともに、国・県などの補助金の活用をめめます。

将来世代も使用する施設であるため、起債（借金）を活用し世代間の負担を公平にします。

費用については、それぞれの施設の設計を進めることにより今後具体的にお示しします。

小学校建設費用 * 施設共用するコミュニティセンターを含む	30.0億円
その他施設建設費用 * こども園、学童保育所、給食センター	12.6億円
用地取得・造成費用 * 共用駐車場・公園を含む	7.4億円
道路・インフラ整備費用	5.0億円
総整備費用	55.0億円

※標準的な土木設計費、築造費等を用いて算出したものです。

総整備費用から国の補助金等を除いた分が町の負担になります。

竜王小学校建設基本計画策定委員会を設置しました

新しい小学校が次世代を担う子どもたちにふさわしい学校、地域の願いがこもった学校となるよう基本計画を策定するため、竜王小学校建設基本計画策定委員会を設置しました。

この委員会の委員は、竜王小学校の教職員、児童の保護者、竜王小学校運営協議会、地域の代表、学識経験者、町社会教育委員、建築に関し知見を有する方で構成されています。7月には第1回会議を開催し、令和2年8月に策定した竜王小学校整備基本構想の内容確認など、これまで進めてきた町としての検討経過を委員全員で確認していただきました。また、8月には、新しく建てられた学校施設を実際に視察することで今後の検討に生かすために近江八幡市の2つの小学校に視察研修に行きました。

今後、協議を重ね今年度中に基本計画を策定する予定です。



先進事例として近江八幡市の小学校を視察